

公益社団法人日本地震学会平成25年度第1回理事会議事録

1. 日 時 平成25年4月24日(水) 15:00~17:45
2. 場 所 東京大学地震研究所事務会議室B
3. 理事数 15名
4. 出席者 理事11名, オブザーバー1名
 - ・理事: 加藤照之, 井出 哲, 岡元太郎, 香川敬生, 加藤尚之, 小泉尚嗣, 関口渉次, 武田哲也, 田所敬一, 西澤あずさ, 堀川晴央,
 - ・オブザーバー: 田中 聡
 - ・事務局: 中西のぶ江, 岡野美紀子

5. 審議事項

議長加藤照之は、本日の理事会の理事出席者が11名であり定足数を満たしているため、理事会が成立することを宣言した。続いて、以下の議案について、逐次審議に入った。

第1号議案 外部監事の選任について

鈴木監事から2013年度も引き続き外部監事を請けることの内諾が得られたため、履歴書が回覧された。鈴木監事を外部監事候補者として総会に付議することを全会一致で承認した。

第2号議案 平成24年度事業報告案について

平成24年度事業報告案について岡元常務理事より説明が行われた。審議の結果、原案を一部修正の上、全会一致で承認し、総会に付議することとした。

第3号議案 平成24年度収支決算報告案について

平成24年度収支決算報告案について加藤会計担当理事より説明が行われた。審議の結果、原案を全会一致で承認し、総会に付議することとした。

第4号議案 2013年度定時社員総会について

2013年度定時社員総会について岡元常務理事から説明が行われた。提案通り、5月21日(火)19:00から幕張メッセ国際会議場302室にて開催することを全会一致で承認した。続いて、議案について確認を行った。また、社員総会に於いて会長から「行動計画2012」に基づく学会の対応および寄附金の控除制度等について報告することとした。

第5号議案 育志賞の推薦について

第4回(2013年度)日本学術振興会育志賞の学会推薦について、岡元常務理事より経緯

説明が行われた。学会からの推薦候補者の選定方法として、学生優秀発表賞受賞者を対象とした場合、会員に平等な機会が与えられないのではとの意見があった。審議の結果、今年度の推薦候補者の選定については、学生優秀発表賞の上位受賞者で推薦資格を有する者および学会員から推薦希望を募ることとした。なお、推薦候補者の申請にあたり、賞の審査基準をふまえ、所属大学から推薦を受ける者については、その旨も申請時に付記することとした。申請のあった推薦候補者については、次回理事会において書類審査を行い、学会からの推薦について審議することとした。

第6号議案 共催・協賛・後援依頼について

国立科学博物館からの科博NEWS展示「ジョン・ミルン没後100年特別公開 日本地震学の基礎をつくった男『ジョン・ミルン』」に係る共催依頼について加藤会長より経緯説明が行われ、共催を全会一致で承認した。また、パネル作成等の協力については、会員から適当な方に依頼することとした。

以下2件の資料が回覧され、協賛、後援名義の使用を許可した。

- ・日本高圧力学会主催の第54回高圧討論会
- ・科学教育研究協議会第60回全国研究大会・岩手大会

第7号議案 大会・企画委員会関連の議案

2013年若手育成企画に応募のあった名古屋大学ほかのグループの企画内容について、八木大会・企画担当理事に代わり岡元常務理事より説明が行われた。審議の結果、この企画を採択することを全会一致で承認した。なお、申請額については若手育成企画の予算内で運営するよう調整を行うことを採択とあわせて伝えることとした。

2016年度秋季大会の開催地及び担当者の募集に関して当該委員会より代議員メーリングリストで公募することを承認してほしいとの要望があり審議を行った。審議の結果、公募条件等を明らかにして公募を行うほうが良いのではとの意見があり、当該委員会に公募条件等を付けるかどうかを聞くため、引き続き継続審議とした。

秋季大会期間中の学会に対する問い合わせ窓口について、当該委員会より問い合わせ窓口を機能させるため、大会期間中に事務局につながる通信網整備の要請があった。事務局の通信状況を調査し要望にこたえられるよう引き続き対応を検討することとした。

第8号議案 入会申請者の承認について

議長から、入会申請者の承認に関する件について諮られ、審議の結果、正会員に申し込みのあった12名（内学生7名）の入会を全会一致で承認した。

6. 報告事項

以下の報告があった。

1. 鈴木監事より平成 24 年度の事業及び財務諸表の監査に際し、会計処理規則および公印の取り扱いについて指摘があった。指摘事項に関して、今後改善することとした。
2. 堀川理事より E P S 誌参加 5 学会会長意見交換会について議事概要の説明があり、E P S 誌の進捗状況として、今後の E P S 誌の刊行におけるスケジュール、投稿にあたっての注意事項、新価格形態、e-letter と Research News の廃止、2012 年の I F 値、今後の特集号の扱いについて等の報告があった。また、メールニュースでの会員への E P S 誌に関する周知について報告された。
3. 学会からの旅費交通費の支給について公認会計士から指導があり、今後は指導内容に従った旅費交通費の支給を行うことが事務局より報告された。
4. 正会員 15 名（内学生 8 名）の退会届が提出された。
5. 田中広報委員長代理より、第 34 回記者懇談会の開催案内について報告があった。理事会後に nfml および代議員メーリングリストへ周知することが報告された。
6. 西澤理事より日本地球惑星科学連合の男女共同参画委員会への地震学会からの委員派遣について山野委員から西澤委員へ交替すること、連合大会のパブリックセッション「イクメンプロジェクトと科学者のワーク・ライフ・バランス」をメールニュースで会員へ周知すること、地震学会の男女共同参画委員会の委員についても山野委員が交替することが報告された。
7. 井出理事より 2013 年度前期海外渡航旅費助成金の審査結果について、I A S P E I への参加者 1 名の採択が報告された。
8. 加藤会長より関東地震 90 周年記念シンポジウムの進捗状況について、共催依頼は各団体に申請済みであり、後援申請については近日中に手続きを行うことが報告された。また、プログラムについて講演者等ほぼ確定した旨が報告された。
9. 田所理事より東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会の活動について、「学術の動向」3 月号の刊行や連絡会が後援する行事等が報告された。
10. 加藤会長より、2013 年度理事メーリングリストの登録状況について説明があった。登録者についての意見を交わした結果、平成 24 年度第 7 回理事会での申し合わ

せに従い、理事メーリングリストについては原則として登録者を理事、監事および事務局とすることを確認した。理事ではない事業委員会の委員長については、事業内容の報告等を遺漏なく行えるよう各担当理事においてその連絡業務を行なうよう申し合せた。

11. 香川理事より、今年が鳥取地震発生から 70 年にあたることから、鳥取県が企画する催事に関して地震学会に協力要請がある可能性が報告された。また、香川理事が活断層学会からの派遣委員として日本地震工学シンポジウムの実行委員になることが報告された。
12. 八木理事の代理として岡元理事より、秋季大会における発表形式の選択について今年度から「オーラルまたはポスター」「ポスター」の 2 択とすること、予稿集の電子化については引き続き委員会で検討すること、2013 年度及び 2014 年度秋季大会準備状況について、大会投稿システム等について報告された。
13. 議長より 4 月 19 日に締め切られた特別シンポジウムの応募に関して、会員から応募がなかった旨が報告された。締切後に理事会から特別シンポジウムについて提案を行うかどうか理事メーリングリストにて議論が行われ、メーリングリスト内で香川理事より提案されたアウトリーチと地学教育に関するテーマの企画について議論が行われた。このテーマの企画に関して、「行動計画 2012」に基づき設けられた「地震学を社会に伝える WG」において特別シンポジウムの実施について議論することとした。議論の結果は遅くとも 6 月までには理事会に報告することとした。